

式辞

柔らかな春の光が降り注ぎ、桜の花びらが舞う本日、令和四年度、島根県立隠岐高等学校入学式を挙げてまいりますことをたいへん嬉しく思います。本校を代表し、深く感謝申し上げます。

今日の入学式にあたり、PTA副会長 和田貴弘 様、隠岐高校魅力化コンソーシアム会長 野邊一寛 様 を来賓としてお迎えし、新入生の前途を祝していただけますことに心より御礼申し上げます。

先ほど入学を許可しました普通科四十一名、商業科二十四名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校の在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎いたします。

ご家族の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これまでお子様を育ててこられました皆様にとって、本日のお子様の晴れ姿に感慨も一入のことと思います。私も隠岐高校教職員は、課せられた責任の重さを感じながら、気持ちを引き締め、お子様の大きな成長を目指して教育活動に取り組んでまいります。どうか、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本校は、大正元年十一月、隠岐女子技芸学校として創立された歴史と伝統のある学校です。今年で創立百十年を迎え、卒業生は約一万二千名を数えます。新入生の皆さんのご家族、ご親族の方の中にも本校の卒業生であるという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。新入生の皆さんには、これまでに築かれてきた穏やかで節度ある校風をしっかりと受け継ぎ、さらに発展させるよう奮闘していただきたいと思います。

さて、皆さんは隠岐高校の入学選抜に合格して本校へ入学を認められました。これは、皆さん一人ひとりのこれまでの学びや努力の積み重ねが評価された結果であることはもちろんですが、一人の人間として優れていると認められたわけではありません。将来、優秀な人物になれるかどうかは、これからの努力で決まるということを忘れないでほしいと思います。言うまでもなく、人間としての成長や自己実現の道は一生の課題です。成長していくためには、常に謙虚に自らを省み、未熟なところに思いをいたし、より高い理想を目指していかなる困難にもめげず、日々向上の道を歩む必要があります。

そのために、高校入学にあたって皆さんに求めたいことは、「自分の限界に挑み続ける」ということです。自分の限界はここまですごいと思えば、そこで成長は止まります。まずは、無理だと思わず挑み続けることが大切であり、その挑戦が自分の限界を超えさせることになるのです。これが本当の成長であると思います。日々の授業のみならず、部活動や学校行事、学力テストや商業科の検定試験など、自分を取り巻くすべてのことに安易に妥協せず、自分の能力の限り頑張ってみる。それを自己実現の第一歩としてほしいと思います。

中国戦国時代の儒学者である孟子の言葉に、「已むべからざるに於いて、已むる者は已まざる所なし」という言葉があります。「やめてはならないところでやめる人間は、何をやっても中途半端なことしかできない」という意味です。人生には何度か「正念場」と言える場面があります。ここで踏ん張らなければ、せっかく今まで築いてきたものを失ってしまうとか、そこを乗り切らなければ、新しい展望が開けないとかという場面があります。ここを突破すると、それが大きな自信につながり、人間的にも一回り大きく成長することができる場所もあります。無理と思ったところでも、最後の一步を踏ん張る。そういう挑戦を心がけてほしいのです。高校生活の中にはそう言った場面がいくつも存在します。卒業後の進路を決める場面はその最大の場面ですが、隠岐高校での生活の中で、皆さんが成長するチャンスを見逃さないように、着実に成長の階段を登ってほしいと思います。

そして、「志」を持つこと。自分の「志」を定め、その実現に向けて精一杯努力することを皆さんに求めます。「志」とは、単に「こうなりたい」とか「こうなったらいいな」と思う「夢」ではなく、「こうしたい」と思って実現に向けて行動する気持ちです。「志」があれば、困難であると思われることにも、あえて挑戦することによって現実のものにすることもできるかもしれません。心に決めた目的や目標がしっかりとあれば、自然と気力も湧いてきて、実現に繋げることができるのです。

本校では、ステージ左側に掲げてある「健・智・拓」「健やかにして・智を持って・未来を拓く」の校訓のもと、「健康で、確かな学力を持ち、自立する生徒を育成する」ことを教育の目標としています。

隠岐高校は、生徒の可能性を広げ、現在と未来の隠岐を支える人材の育成を目指し、生徒、教職員、地域が一丸となって教育活動に取り組んでいます。本日からの本校で過ごす三年間は、今後の皆さんの人生において大変大きな意味をもつ時期であることは言うまでもありません。本校には皆さんが「志」を持って学ぼうとすれば、その気持ちに充分応えられる機会が準備され、また皆さんを大きくサポートしてくれる先生方が揃っています。どうか、この隠岐高校という場を十分に活かし、充実した日々を過ごしてください。

新入生の六十五名の皆さんの成長と、大きな「志」の実現のために、教職員が一丸となって尽力することをここにお誓い申し上げます、式辞といたします。

令和四年四月九日

島根県立隠岐高等学校

校長 陶 山 裕 史